

## 使用教材



実践で使用した自作のVOCA



作業学習でのVOCA活用

活用の目的：自分の要求を他者に伝えることができる。

発せられる音声をモデルに模倣して言語を獲得する。

活用の場面：お茶の要求、作業学習で材料となるビーズの要求など。

活用の効果：要求を伝えることができた。「お茶をください」「お願いします」などいくつかの言語を獲得できた。



「朝の会」対象児使用のカードなど



「朝の会」司会用のボード

活用の目的：カードのやりとりにより、他者と共通なものに注意を向ける活動を促す。言語コミュニケーションを補助した視覚支援とする。

活用の場面：司会の級友が司会用のボードから順にカードを手渡し、受け取った対象児が、色のマッチングにより所定の位置に掛けていく。

活用の効果：他者と共通なものに注目する頻度が上がった。

「分かった」「できた」という経験が下支えになり活動に自信が持てた。